



# 御神船

「御神船」とは、伊達藩の時代、物資流通や大漁祈願の海渡りに活躍した船が称賛されて「御神船」と呼ばれるようになりました。

2025  
(令和7年)  
4  
月号

不許複製：禁無断転載・引用

Vol.232 仙水グループ広報

仙台水産ホームページ [www.sendaisuisan.co.jp](http://www.sendaisuisan.co.jp)

## ふぐ処理試験に挑戦！

### 「仙水グループふぐプロジェクト」立ち上げ

仙水グループ・仙台水産は4月12日、仙台水産大会議室で今年度の「宮城県ふぐ調理者資格」の取得に向けたプロジェクトを発足させ活動をスタートさせました。



▶発足式であいさつする伊藤専務(左)

当日の発足式には、グループ4社から参加を希望する10人と、プロジェクトを統括する仙台水産千葉祐之事業開発部部長らが出席しました。

冒頭、仙台水産営業本部長の伊藤専務は「宮城でもフグの水揚げが多くなったが、さばく人がいれば商売につながられる。試験は難しいが、このメンバーでぜひ資格を取得し、グループの仕事につなげていただきたい」とあいさつし、参加者を激励しました。

その後のメンバー自己紹介の中で、オプザーバー参加の近海特種部・鈴木潤一部長は「近年、トラフグを中心に水揚げが多くなっている。仙台卸売市場のブランド商品として新たに発信できればと思う。一緒に勉強したい」と話しました。

続いて、千葉部長から「前回の合格率は40%台と難関であるが、目標は全員合格。全力でバックアップする」と話し、プロジェクト目的と資格取得までのスケジュール説明がありました。

本田社長は「道漁連との情報交換の中で、フグの水揚げは下関に送っているとのこと。当市場にも七ヶ浜などから水揚げがある。これをチャンスと捉え、新たな水産資源の活用を宮城の食文化として育んでいきたい思いがある」と話しています。グループの皆さん、「ふぐプロジェクト」の今後の活躍を期待し、協力・応援していきましょう。

## すずめ踊り練習始まる！ 第41回仙台青葉まつり

5月17日(土)宵まつり・18日(日)本まつりに向け

仙水グループが躍動する「仙台・青葉まつり」。仙水グループは毎年、青葉まつりに「御神船山鉦」とともに参加しています。連日、市役所管理棟で踊りの稽古に励む踊り手を取材しました。

笛や太鼓のお囃子が聞こえます。4月に入り、すずめ踊りの練習が始まりました。連日、汗だくになりながら練習が続きます。

仙水グループのすずめ踊りは、オリジナルテーマ曲の「さっさ囃子」。スピードと鮮度感あるリズムが特徴。躍動感のある威勢の良い掛け声と軽やかなステップの舞いで聴衆を魅了します。

今ではグループのすずめ踊りは、参加祭連(まつら)の中でもトッ

プクラスの実績を持ち、もはや有名ブランドです。新入社員は、この厳しい練習を通し仲間との信頼や連帯、達成感を味わいます。

今年も、踊りの師匠は辻真弓先生、お囃子は水野二郎先生に指導をお願いしています。

仙水グループが躍動する青葉まつり。今年のテーマは「広がる、伊達な界限」で、第41回開催。すずめ踊り手、お囃子隊の皆さんに大きなご声援を！



▲連日、稽古に励む踊り手の皆さん 4/21



## グループ各社が入社式

グループ会社の仙台丸水配送と仲卸の鈴力水産、東海も同日入社式を開き、社を挙げて新入社員を歓迎しました。

新入社員らは「迷惑をかけるかと思いますが、一生懸命頑張ります。よろしく願います」と話していました。

### 仙台丸水配送



▲小笠原社長（後列右から2人目）と新入社員（前列右から3人目）

### 鈴力水産



▲山口社長（右から2人目）と左側に新入社員

### 東海



▲松尾社長（前列中央）と両側に新入社員

## 明るく 楽しく 元気に そして前向きに 仙台水産・桃浦かき生産者合同会社 合同入社式

仙台水産と桃浦合同会社の入社式が4月1日、仙台水産大会議室で開かれ、次代を担う6人が社会人としての新たな一歩を踏み出しました。

辞令交付後、本田誠社長はあいさつで、入社を歓迎するとともに「我が社では常々、若手社員の成長は会社の未来。一人ひとりの成長こそが会社成長の原動力と言っている。焦らず、一つひとつの仕事に真摯に向き合えば着実に力はいってくる。明るく、楽しく、元気よく、そして前向きに、今日からともに頑張っていこう」などと訓示しました。

その後、桃浦の新田拓哉代表社員が「海の仕事は楽しいことばかりでなく、つらいことも多い。苦労も多い分、成功の喜びと達成感がある。社会に貢献できる人材になってほしい」、グループを代表して仙台商産の石森克文社長は「グループ各社は皆さんの成長を期待しているし待ち望んでいる。自分自身の成長のために前向きに行動してほしい」と激励のあいさつを述べました。

役員紹介、無着豪一労働組合委員長による歓迎あいさつの後、新入社員を代表して下川原佳吾さんが「入社式で抱いた新鮮な気持ちを忘れることなく精進します。何事にもポジティブな姿勢で挑戦していきたい」と力強く決意を述べました。



▲本田社長（右）に答辞を述べる下川原さん（中央）

## 仙水グループ入社前研修で初顔合わせ

新入社員の入社前研修が3月28日、29日の両日開かれました。仙台商産の石森社長からは中央卸売市場の仕組みとグループの概要、「食は命」市場の命題など、本田社長は会社のビジョンと女性の活躍、「周りの人に信頼される自分づくり」などについて話がありました。売場見学、各社訪問も行われました。早くグループを知ってもらい活躍してもらうことが目的です。一堂に会したことで、同期の絆が生まれれば幸いです。



▲塩干部担当者（左）から商品説明を受ける

## 今月の旬のお魚 No.73



▲宮城が誇る最高級ブランドのみやぎサーモン

銀ザケを含むサーモンは、切身、刺身共に水産部門のNo.1 カテゴリーです。餌は年々改良されており、品質がとても良くなっています。

近年では加工した塩銀ザケや冷凍銀ザケも多く流通し、一年中味わえるようになりました。宮城サーモンという活けられた銀ザケも流通しており、銀ザケから“サーモン”として注目されています。刺身や寿司など、生食でおすすめしましょう。切身では、旬の野菜と合わせたボイル蒸しなどが簡単でおいしいおすすめメニューです。岩手県での養殖も盛んに行われるようになりました。さらに美味しくなった旬の銀ザケを、仙水グループ一丸となっておすすめしていきましょう！

5月度メディア情報 《番組出演》5/9(金) 17:20 ~ミヤギテレビ OH! バンデス「銀ザケチーズシュウマイ」

《雑誌掲載》4/28(月) 発行 情報誌りく5月号「ご飯が止まらない! 銀ザケとナスの旨みだれ炒め」

※詳しくは仙台商産営業企画部まで

### ムッシュのおさかな道場

4月11日(第2金曜日)ミヤギテレビの人気情報番組「OH! バンデス」の「ムッシュのおさかな道場」。今月のおすすめは「タイ」。今日のレシピは「祝いタイ! 真鯛の炊き込みご飯」。鯛と出汁の濃厚な旨みをご飯にも沁み込んで、贅沢なおいしさ。栄養価も高いんです。



▲意外と簡単! 料亭の味「鯛の炊き込みご飯」

### りらく / マダイを食べよう

「りらく」担当の御簾納さん。4月号の「魚知(うおっち)」は「マダイ」。祝いの席の代名詞のお魚といえば「タイ」。味、色、姿ともにそろっており古くから縁起のよい魚として珍重されてきました。旬は春と秋。春の天然タイは「桜鯛」と呼ばれます。祝いの逸品! 「刺身鯛めし」。



▲祝いタイ からめてうまし 刺身鯛

### 各社楽しく団結会相次ぐ

新年度入り前後にグループ各社の「団結会」が相次ぎ開かれています。写真は、仙台宮水から編集部宛てに送付されたもの。紹介以外にも、各社・各部ごと開かれ、さらなる団結が図られました。

互いの信頼感醸成、モチベーションのアップ、一致団結!。ヤル気に満ち溢れた活気ある職場を目指しましょう!



▲明るく、楽しく! 仙台宮水団結会 3/25

## ようこそ! 仙水グループへ

《敬称略》

### 仙 台 水 産

うちみ よしのぶ しもかわら けいご すずき ゆうと ほりうち ゆりか おじか ななは  
内海 慶伸 下川原 佳吾 鈴木 勇斗 堀内 友梨香 男鹿 奈々羽



サッカー



バスケ



筋トレ、釣り



岩盤浴



ストレッチ

### 仙台丸水配送

ちば あやの  
千葉 綾乃 サリムイbrahim



音楽鑑賞



読書、旅行

### 東 海

ひの そうた ふじた ゆうせい やすだ まお  
日野 颯太 藤田 悠聖 安田 茉央



ドライブ



スポーツ鑑賞



海釣り

### 桃浦かき生産者 合同会社

グループの次代を担う10人です。先輩は襟を正し、優しくも厳しく、率直な助言でご指導を。写真の下は本人の趣味。気軽に声かけをお願いします。

### コンプライアンス推進 室長に後藤氏が就任



後藤 秀一氏

4月1日付けでCSR本部コンプライアンス推進室長をすることになりました後藤秀一です。前職は、宮城県警察で42年間勤務し、そのうち33年間に汚職事件や詐欺・横領等の知能犯罪、暴力団による事件や特殊詐欺等の組織犯罪を担当してきました。皆様から頼られるコンプライアンス推進室を目指します。どうぞよろしくお祈りします。

### コンプライアンス推進室から No.59

#### 実践しよう! プロがやっている「防衛運転」

プロドライバーは、あらゆる交通事故を回避する「防衛運転」を実践しています。「防衛運転」とは「自ら事故を起こさない」、「事故に巻き込まれない」、「他人に事故を起こさせない」との強い意識で行う運転方法です。そのためには「かもしれない運転」や「思いやり、ゆずりあい運転」を実践しなければなりません。

- 運転前車両点検の励行
- 時間と心に余裕を持った運転
- 先行先や経路地の天候、交通状況把握
- 歩行者優先意識の徹底
- 体調の把握と場合によっては運転を控えるなど。



ハラスメント(セクハラ、パワハラ、マタハラ、カスハラ等)一人で悩んでいませんか? 窓口⇒CSR本部コンプライアンス推進室 090-3129-8914に早めの相談を!